

## 新出表現を何度も練習しよう

～ Language Games NEW CROWN (1年) LESSON 8 ～ (習得の時間)

指導内容

- ▼指導内容 ICT 機器のスライド機能やアニメーション機能を使い、ターゲットセンテンスを習得させる。
- ▼つきたい力 画面に映っている人物について、can を用いてその説明ができる。

技能と評価

評価する主な技能	<input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
評価する主な方法	<input checked="" type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
	<input checked="" type="checkbox"/> ペーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

その他

◆「活用の時間」について: 活用の時間を意識したコミュニケーション活動など

あらかじめ目的を示した上でインタビュー活動を行うことで、意欲的にとりくむ姿勢を育む。課題を与えることでグループで話し合ったり協力する場面を設定する。

写真に写っている人物を英語で説明するクイズを行うことで、話し手が聞き手の反応を見ながら話すことに慣れ親しませる。

◆外国語活動との連携について

内容の関連: 英語ノート2 Lesson 4 I can swim. できることを紹介しよう

Hi, friends! 2 Lesson3 I can swim. できることを紹介しよう

表現の関連: できることを説明する など



■ 助動詞 (NEW CROWN Lesson 8 Language games)

1. 単元の目標

1. スピーチにおいて、間違ふことを恐れずに話す。
2. 助動詞 can を用いて、まとまりのある内容で表現する。
3. 助動詞 can の用法を理解する。
4. 言語活動に必要な日本語と英語の文化的背景について理解している。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では、主人公の久美とポールが、日本語と英語の文字を通して、お互いの言葉を学び合っている場面設定がされている。このことから、言葉遊びを通して文化の多様性に着目させることができる教材である。言語材料として取り扱われる助動詞 can を用いたスピーチ活動から、自分の考えや意見を表現できる力を養う。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・スピーチで、間違ふことを恐れずに話している。	・助動詞 can を用いて、まとまりのある内容で表現することができる。	/	・助動詞 can の用法を理解する。 ・言語活動に必要な日本語と英語の文化的背景について理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1 本 時	・助動詞 can の用法を理解する。 ・助動詞 can を、肯定文で使えるようにする。	Miki can speak English.	・助動詞 can の用法を知る。 ・助動詞 can を肯定文が使えるようにパターン練習をする。	【ペーパーテスト】 ・助動詞 can の用法を理解しているか。
2	・本文の内容を理解し、日本語と英語の言葉遊びに関心をもつ。 ・助動詞 can の用法を理解し、疑問文、否定文で使えるようにする。	Can you swim? Yes, I can. No, I can't.  Tom cannot (can't) play the piano.	・教科書本文を意味理解する。 ・教科書本文をセンテンスリーディングする。 ・補助教材を活用し、助動詞 can の疑問文、否定文で使えるようにパターン練習をする。	【ペーパーテスト】 ・助動詞 can の用法を理解しているか。
3	・本文の内容を理解し、日本語と英語の言葉遊びに関心をもつ。		・教科書本文を意味理解する。 ・教科書本文をセンテンスリーディングする。 ・教科書本文の内容を中心に応答練習をする。	【活動の観察】 ・言語活動に必要な日本語と英語の文化的背景について理解しているか。

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチに向けてアイデアを考える。</li> <li>・助動詞 can を用いて、自分の考え意見をまとまりのある内容で表現する。</li> </ul>	<p>Can you read these words? They make a sentence. It's difficult without a hint.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチで使用する言葉のアイデアを考える。</li> <li>・スピーチの原稿を作成する。</li> </ul>	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞 can を用いて、まとまりのある内容で表現することができる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチで、間違うことを恐れずに話している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語材料として取り扱われる助動詞 can を用いたスピーチ活動をする。</li> </ul>	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチで、間違うことを恐れずに話している。</li> </ul>

## 5. 本時(活用の時間)について

### (1) 本時の目標



1. 助動詞 can の用法を理解し、その肯定文を使えるようにする。

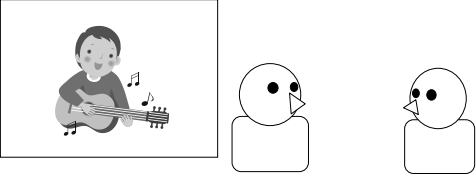
### (2) 本時の評価基準

- パターン練習で否定文を使うことができる。

### (3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
導入	<p>①ウォームアップをする。 インタビュー・リサーチ (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班でインタビューをする手筈の相談をする。</li> <li>・調査結果を集計して発表する。</li> </ul> <p>②新出単語の習得する。 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習</li> </ul>	<p>○インタビューリサーチの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*インタビュー活動を通じて、クラスの様子を調査するもの。</p> <p>(1) 調査の題目を知らせる。 「36 人いるこのクラスでは、ひと月当たり三人が誕生日を迎えている」を班で分担しクラス全体に調査。</p> <p>(2) 班員ひとりひとりが調査する人数など班で調査する手筈を整える。</p> <p>(3) 実際にインタビューをして、状況を調査する。</p> <p>(4) 調査した集計を、まとめて代表として数班に発表させる。</p> </div> <p>・パソコンを用いて新出単語をスライドショーで見せるとともに音読させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業で学習した誕生日を尋ねる表現を活用する。</li> </ul>

	<p>・コミュニケーションを意識したキーワードゲーム</p>	<p>・コミュニケーションを意識したキーワードゲームの説明をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(1) 新出単語の中で、キーワードを教員(JTE)が決める。</p> <p>(2) 生徒はペアになり、二人の間に消しゴムをひとつ置く。</p> <p>(3) 教員(JTE)が新出単語を発音する。生徒は繰り返して発音する。その際に、消しゴムに注目しながら音読する。</p> <p>(4) 教員(JTE)が、キーワードを発音した場合、生徒は、繰り返しての発音を止め、ペアの間に置かれている消しゴムを取り合う。消しゴムを取った方が勝ちとなる。</p> <p>(5) 第2ラウンドでは、相手の手を注視して活動に参加する。</p> <p>(6) 第3ラウンドでは、アイコンタクトを意識し活動に参加する。</p> </div> <p>・コミュニケーションを意識したキーワードゲームをする。</p>	
<p>展開</p>	<p>③助動詞 can の用法の説明する。(15分)</p> <p>・説明を聞く。</p> <p>・スライドを見ながら、音読する。</p>	<p>○助動詞 can を ICT 機器を用いて、説明する。</p> <p>例)</p> <p>・電子黒板にある選手の写真を写し出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・ <b>She can play soccer.</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>can + 動詞の原形</p> <p>↓</p> <p>～ができる</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ <b>He can play soccer well.</b></p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>文末に程度を表す表現</p> <p>well : 良く</p> <p>a little : 少し</p> </div> </div> </div> <p>・さまざまな運動選手や音楽家など生徒が、興味や関心をもつスライドを見せ、その写真の状況を教諭(JTE)に続けて音読させる。</p>	

	<p><b>④スライドクイズをする。</b>  <b>(10分)</b>                  ・説明を聞く。</p> <p>・スライドクイズをする。</p>	 <p>・スクリーンに一人は背を向け、一人は見えるように座る。                  ・スクリーンに誰もが知っている有名人を映し出す。                  ・見えている生徒は、そのスライドに映っている人物の説明を <b>can</b> を使い英語で行う。                  ・説明を聞いたスライドに背中を向けて見せている生徒は、思い当たる人物を答える。</p>	
<p>まとめ</p>	<p><b>⑤まとめ(5分)</b>                  ・家庭学習の内容を確認する。</p>	<p>・教科書の新出単語の筆写。                  ・クラスのスライドクイズを考えて、そのセリフをノートに書く。</p>	

